

避難計画

対象災害：水害（洪水 高潮）
土砂災害（がけ崩れ・土石流・地すべり）

【施設名等： ○○○○施設計画 】

令和○年 ○月 作成

目次

青色の書類は市長に提出してください。

市町長の提出は不要※

	項目	ページ
1	災害の種類及びエリア	1
2	避難先	1
3	避難経路	2
4	避難方法	2
5	災害情報、避難情報の取得方法(手段)	3
6	準備物	3
7	避難行動計画(マイタイムライン)	4
8	防災訓練等の実施	5
9	緊急連絡先、連絡方法 (住宅等)	6
10	利用者緊急連絡先一覧表 (要配慮者利用施設、事業所等)	7
11	緊急連絡網 (要配慮者利用施設、事業所等)	8
12	外部機関等の緊急連絡先一覧表 (要配慮者利用施設、事業所等)	8
13	対応別避難誘導一覧表 (要配慮者利用施設、事業所等)	9
14	防災体制一覧表 (要配慮者利用施設、事業所等)	10

※ 住宅等 9のみ作成
要配慮者利用施設、事業所等 10~14を作成

申請地からの避難計画書

記載例

市町村名	阿南市
------	-----

申請場所	阿南市〇〇町〇〇
届出者	〇〇 〇〇

1. 災害の種類及びエリア

記載例

申請区域が含まれている災害の種類及び区域図を記載してください。
その災害区域図に、あなたの申請区域を記載してください。

災害の種類	災害エリア
土砂災害警戒区域	※別紙に添付すること
洪水、高潮の浸水想定区域(3m以上)	

【対象となる災害エリア】

- ◎災害危険区域、地すべり防止区域、急傾斜地崩壊危険区域、土砂災害特別警戒区域、浸水被害防止区域
- 土砂災害警戒区域、洪水・高潮等の浸水想定区域(浸水深3m以上)

2. 避難先

初期に18施設の指定緊急避難場所(兼指定避難所)が開設されます。
18施設以外の指定緊急避難場所を避難先とする場合は、開設状況の確認が必要です。

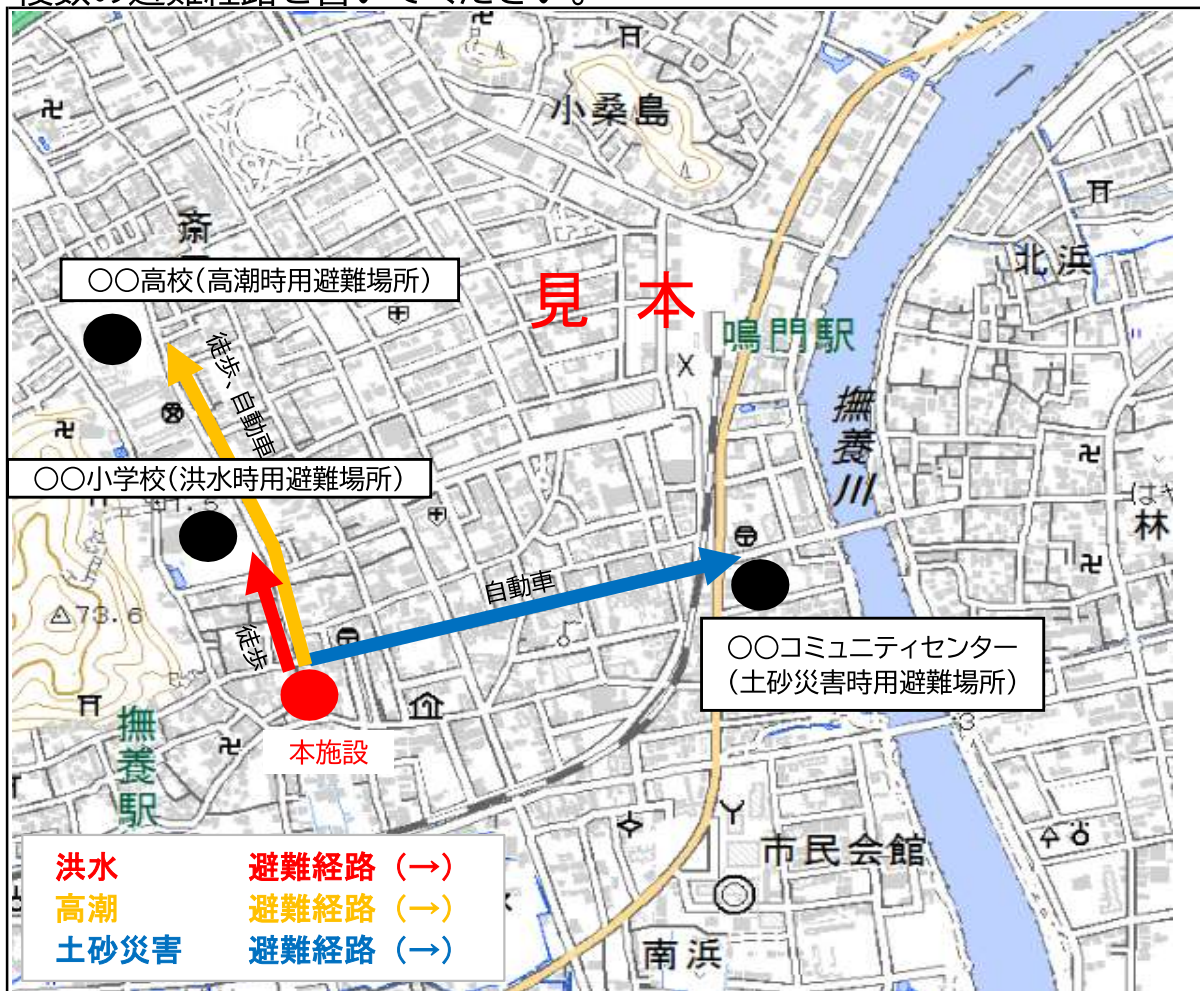
記載例

名称	所在地・電話番号等
〇〇コミュニティセンター(土砂災害)	阿南市〇〇町〇〇 (TELなど) ***-***-***
〇〇小学校(洪水)	阿南市〇〇町△△ (TELなど) ***-***-***
〇〇高校(高潮)	阿南市〇〇町□□ (TELなど) ***-***-***

3. 避難経路

記載例

避難先までの避難経路を書いてください。
 避難経路には、出来る限り災害等の危険区域を含まないようにしてください。他の避難経路を選択できない場合は、危険箇所や留意箇所を記載してください。
 複数の避難経路を書いてください。



※施設の位置、避難場所の位置、避難経路、移動手段(徒歩、自動車等)を記載

避難場所については、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直すものとする

4. 避難方法

記載例

避難先への避難方法を書いてください。

手段	場合・状況	備考
自動車	歩行が困難な家族がおり、早めの避難が可能な場合	
徒歩	避難者が多く、車道の通行に支障が出る恐れがある場合	

5. 災害情報、避難情報の取得方法(手段)

記載例

情報の種類	取得方法
気象情報	テレビ、ラジオ、インターネット(気象庁HP)、スタチくんメール等
災害情報(水位情報、避難指示等)	テレビ、ラジオ、インターネット、防災行政無線、エリアメール等

6. 準備物

記載例

防災マニュアル等を参考に、準備物を記載してください。

- ・保険証
- ・常備薬
- ・飲料水 ○本
- ・携帯食料 ○○個
- ・靴
- ・懐中電灯
- ・電池
- ・ウエットティッシュ
- ・ゴミ袋
- ・マッチ
- ・ろうそく
- ...

7. 避難行動計画(マイタイムライン)

記載例

時間	行動計画
3日前	<p>テレビ、インターネットで気象情報等の収集 避難グッズ(準備物)の確認、補充 家族の行動予定の確認、緊急連絡先の確認</p>
↓	<p>一週間分の薬を病院、薬局で購入する 敷地内に飛ばされそうなものは無いか、浸水で壊れるものは無いか確認 必要に応じ移設</p>
<p>早期注意情報 (警報級の可能性)</p>	<p>テレビ、インターネットで気象情報等の収集 備えのため現金を準備する 携帯電話の充電、予備充電の用意</p>
<p>注意報発表</p>	<p>避難に必要な準備物を確認 ハザードマップの確認、避難場所の再確認 通行止め等の道路状況を確認 別居の家族の状況確認</p>
↓	
<p>警報等発表</p>	<p>テレビ、インターネット等で気象情報等の収集</p>
<p>高齢者等避難発令 (警戒レベル3)</p>	<p>高齢者等、避難困難者は開設された避難場所へ避難開始</p>
<p>避難指示発令 (警戒レベル4)</p>	<p>開設された避難場所へ避難開始 別居の家族等に電話等で避難したことを伝える</p>
↓	
<p>災害経過中</p>	<p>※状況により、他の開設された避難場所へ移動 ※緊急安全確保(警戒レベル5)が発令され、万が一逃げ遅れた場合は、 少しでも安全な場所に直ちに避難</p>
↓	
<p>警報解除</p>	<p>避難終了</p> <p>別居の家族へ安否の報告</p> <p>自宅等が被害を受けていたら片付け、修繕</p> <p>避難グッズ(準備物)の確認、補充</p>

防災訓練等の取組を書いてください。

- ・ 定期的に計画を見直す
- ・ 1回／年以上、地域の自主防災会が開催する避難訓練へ参加する
- ・ 新規採用の従業員を対象として避難誘導に関する訓練を実施する（施設、企業等）
- ・ 1回／年以上、全従業員を対象として情報収集・伝達及び避難誘導に関する訓練を実施する（施設、企業等）

私は、この避難計画書を踏まえ、自らの責任において、災害時に適切な避難行動をとることを約束します。

また、家族構成や、組織の体制など、現在の内容に変更が生じた時は、適宜、見直しを行います。

（署名）

〇〇 〇〇

※

※ 家主、事業所の代表者、施設の管理者等

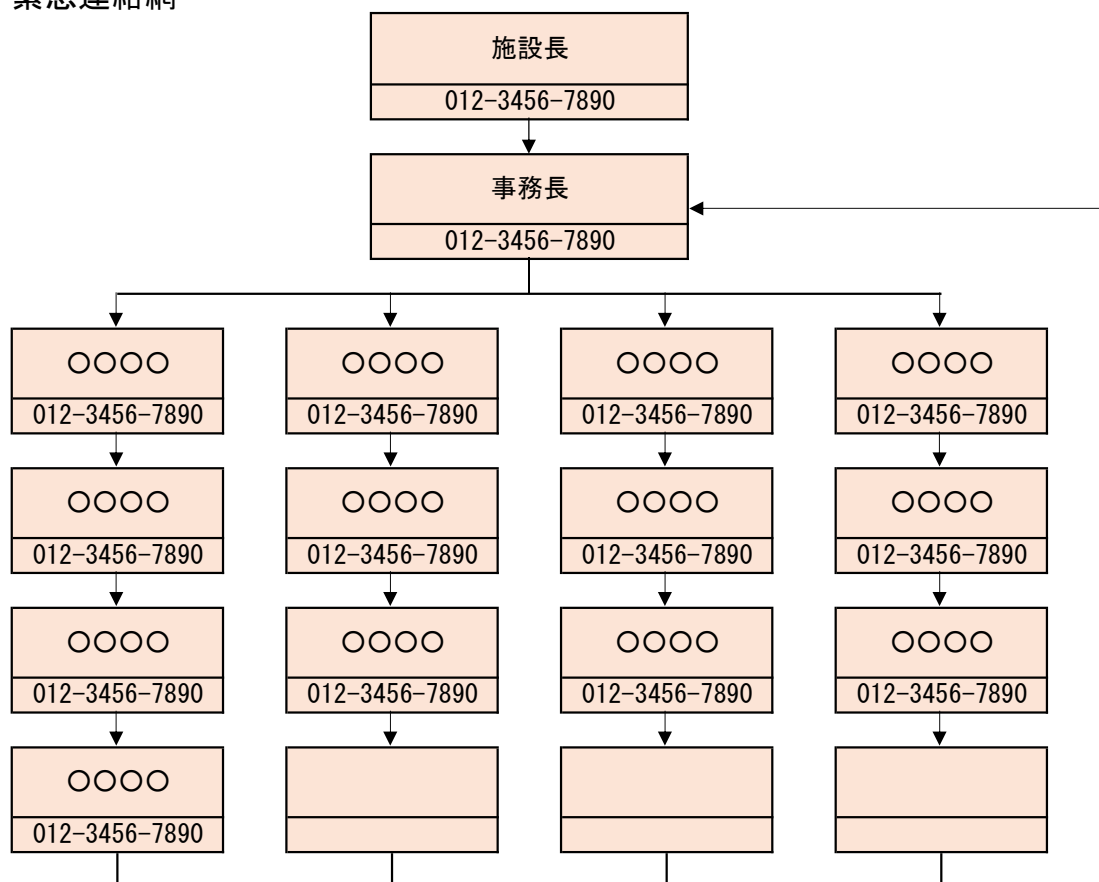
9. 緊急連絡先、連絡方法

人	方法	連絡先
〇〇(本人)	携帯電話	***-***-****
〇〇(家族・同居)	携帯電話	***-***-****
〇〇(家族・同居)	携帯電話	***-***-****
〇〇(家族・別居)	携帯電話、メール	***-***-**** ***@**.co.jp

既存の名簿等がある場合は、それを用いてもよい。

記載例

1 1. 緊急連絡網



既存の名簿等がある場合は、それを用いてもよい。

記載例

1 2. 外部機関等の緊急連絡先一覧表

	連絡先	備考
市町村（防災担当）	012-3456-7890	
市町村（福祉担当）	012-3456-7890	
消防署	012-3456-7890	
警察署	012-3456-7890	
避難誘導等の支援者	012-3456-7890	
医療機関	012-3456-7890	

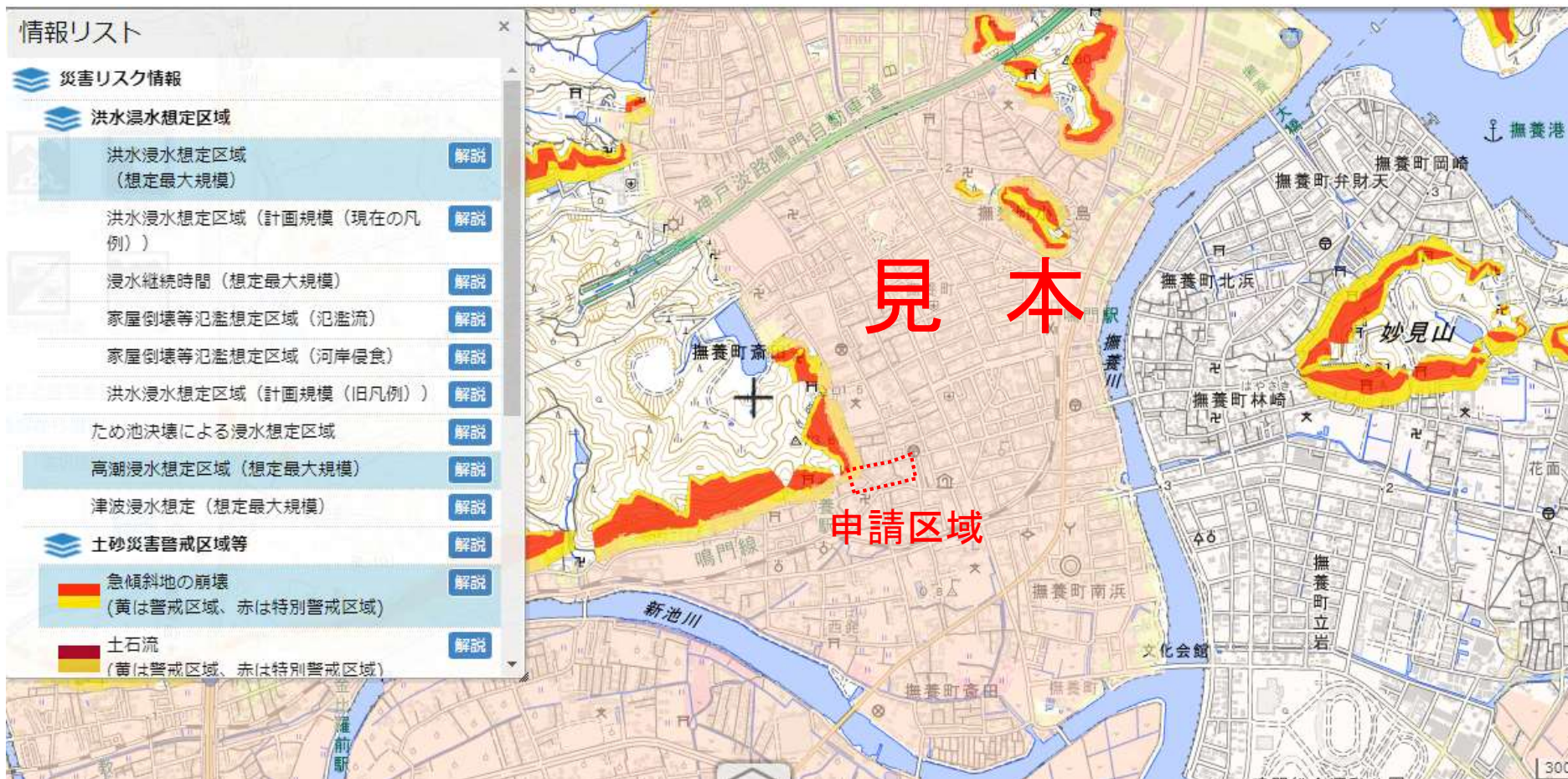
既に防災体制を確立している場合は、それを活用してもよい。

記載例

1.4. 防災体制一覧表

管理権限者 (施設長) (代行者 事務長)

	担当者	役割
情報収集 伝達委員	班長 (管理職員) 班員 (○) 名 ・ ○○○○ ・ ○○○○	<input type="checkbox"/> 洪水予報等の情報の収集 <input type="checkbox"/> 情報内容の記録 <input type="checkbox"/> 館内放送等による情報伝達 <input type="checkbox"/> 関係者及び関係機関との連絡
避難誘導委員	班長 (管理職員) 班員 (○) 名 ・ ○○○○ ・ ○○○○	<input type="checkbox"/> 避難誘導の実施 <input type="checkbox"/> 未避難者、要救助者の確認



重ねるハザードマップより